

2014. 9. 7

白馬EV推進協議会 渡辺俊夫

白馬村のエネルギー・交通・暮らし

村の概要

面積 189.37km²

周囲 65.5km

南北 16.8km、東西

15.7km

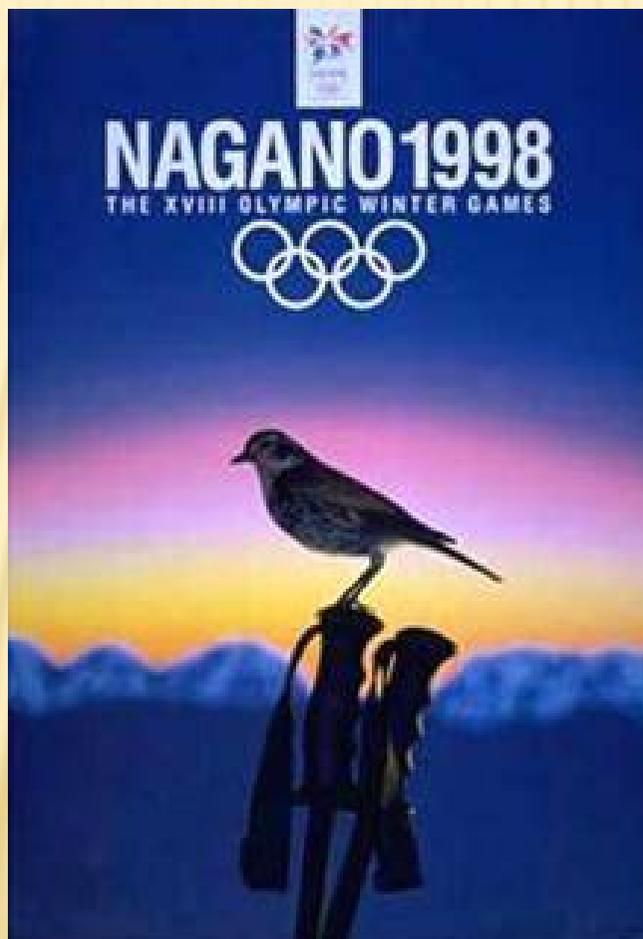
人口 9,018人(3,802世帯)

※平成26年8月1日現在)

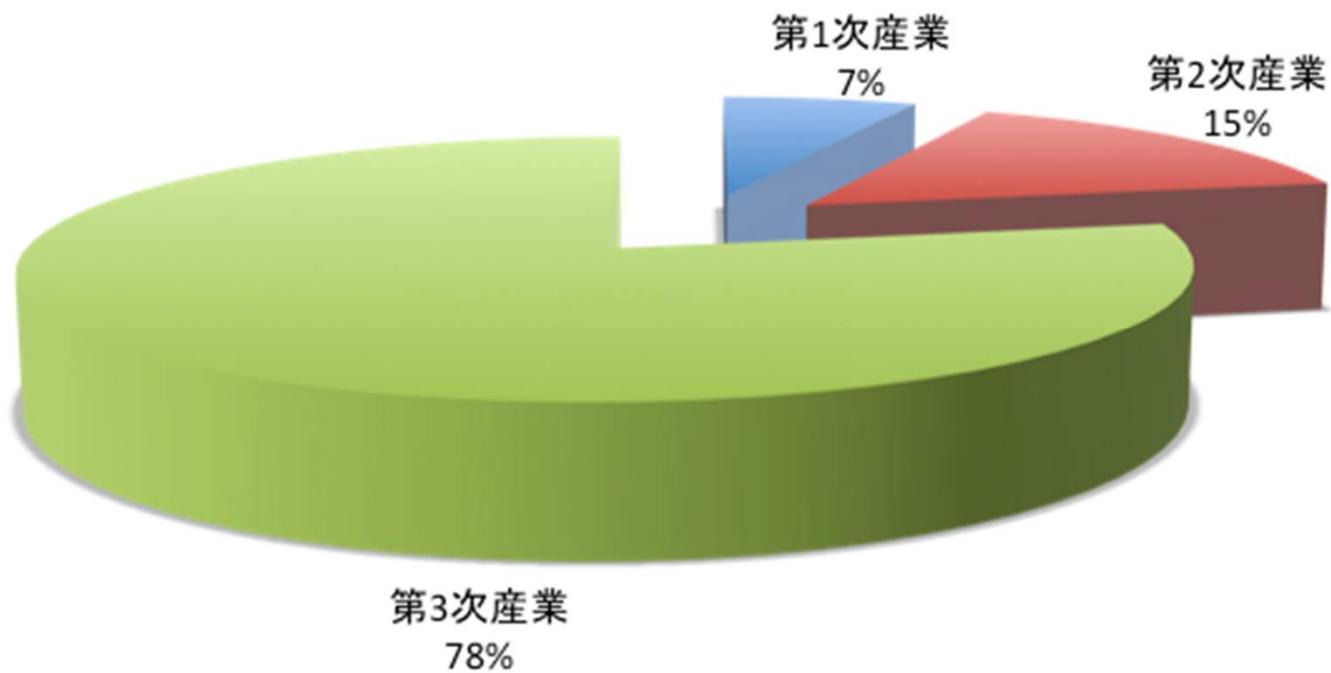


世界に認められた山岳リゾート

自然環境への配慮を第一に掲げた1998長野冬季オリンピック開催は国際的に大きな評価を得た。

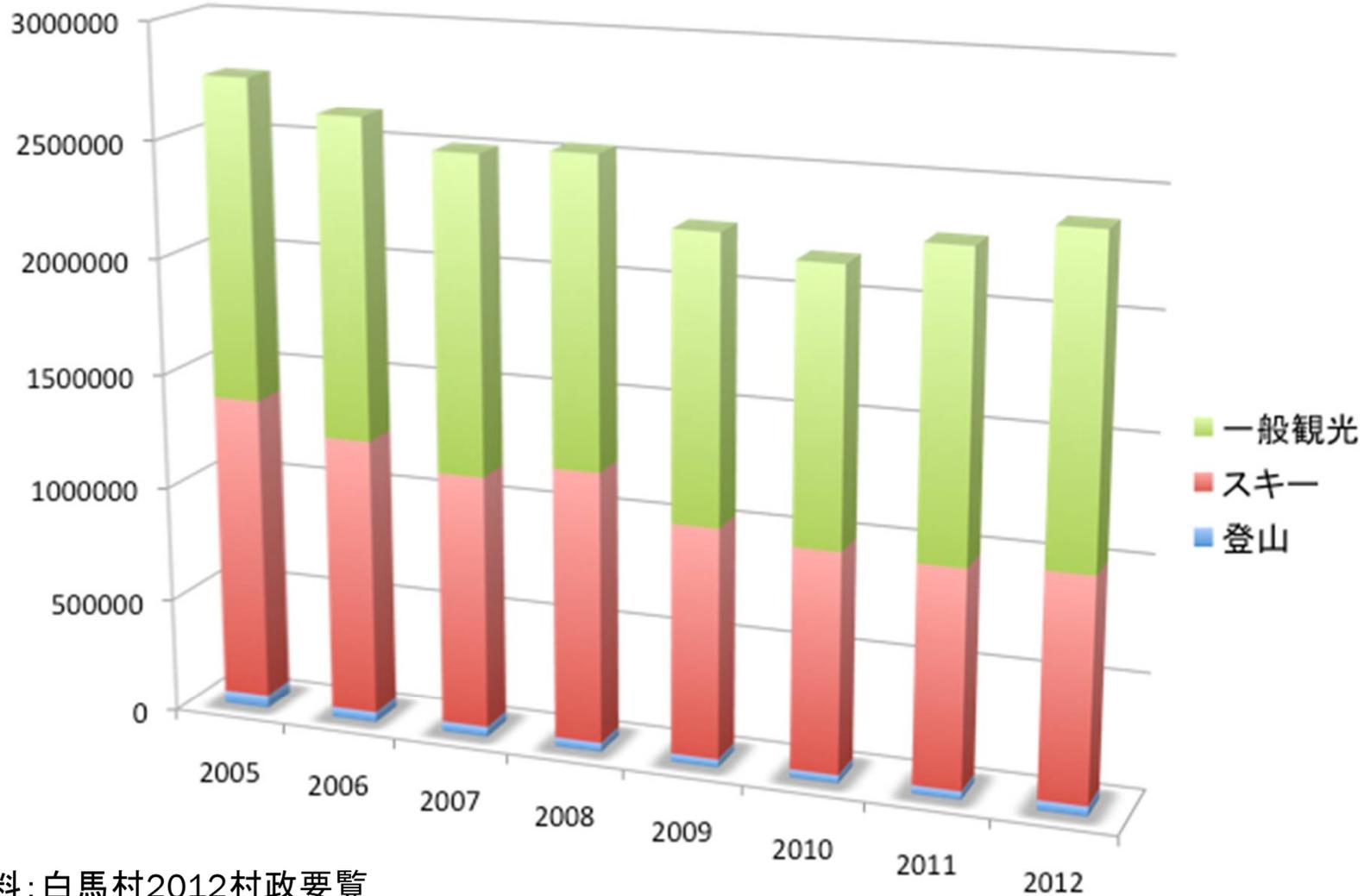


産業別就業人口



資料: 国勢調査

目的別観光客数推計



資料:白馬村2012村政要覧

電気エネルギー

電力自給率 84.01%

全国96番目 ※2011.3段階

「100%電力永続地帯市町村一覧表」

(千葉大学倉阪研究室と認定NPO法人環境エネルギー政策研究所発表)より

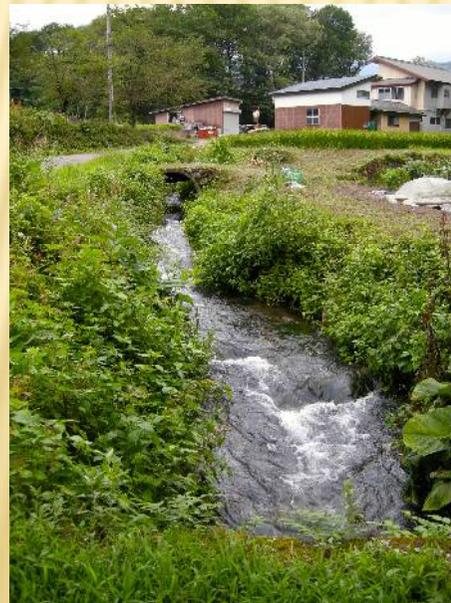
村内小水力発電所

中部電力発電所

二股	5,200kW	1930.5
南股	2,200kW	1930.7
新楠川	2,200kW	1989.5



水力発電資源



バイオマス・エネルギー

森林面積： 10,670.90ヘクタール
材積： 1,200,480立方メートル
成長量： 16,939.3立方メートル



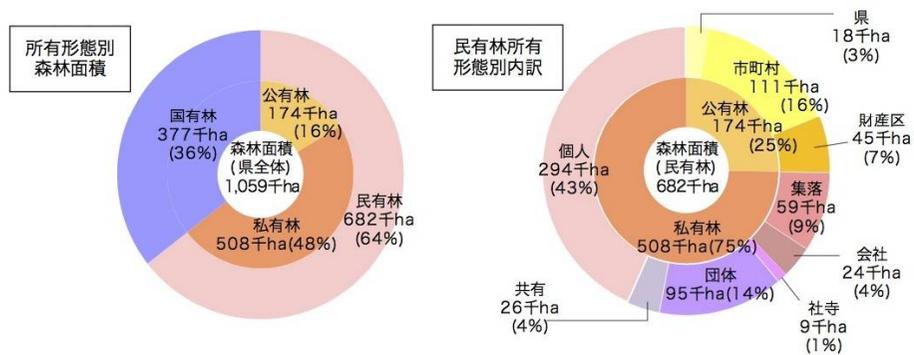
森林・林業の現状(長野県)

※グラフのデータはH22年度末現在(出展:平成22年度林業統計書)
※数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合があります。

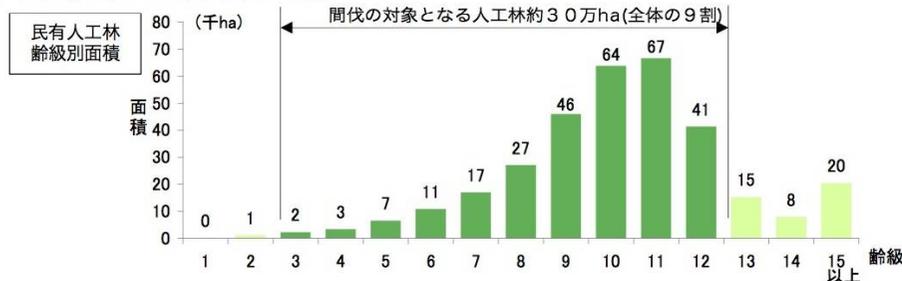
林務部森林づくり推進課

1 森林の現状

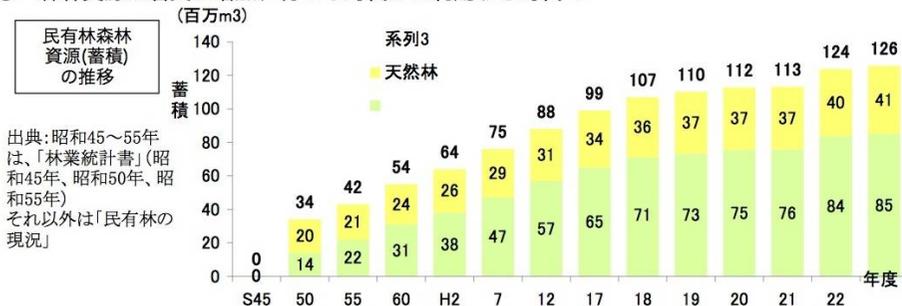
- 県土の約8割が森林でその3分の2が民有林、民有林の4分の3が私有林
- 民有林の約6割が針葉樹、人工林率(人が植えた森林の割合)は50%で約半分がカラマツ



- 人工林の多くは今、間伐が必要



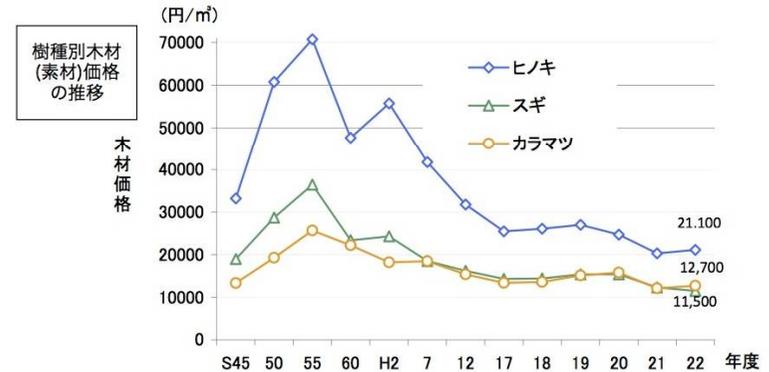
- 森林資源は着実に増加、育てる時代から利用する時代へ



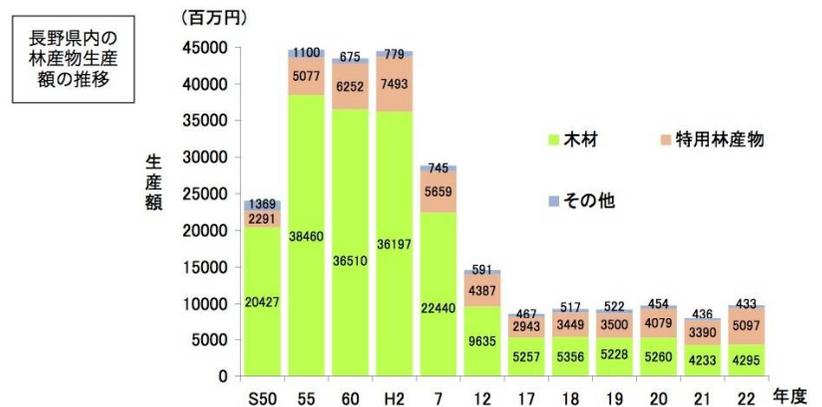
出典:昭和45~55年は、「林業統計書」(昭和45年、昭和50年、昭和55年)それ以外は「民有林の現況」

2 林業の現状

- 木材価格の低迷により厳しい林業経営



- 近年の林産物生産額は90億円前後で推移



注1)「特用林産物」に農政部所管の栽培キノコ類は含まれません
注2)「その他」は木炭,薪,林業用種苗の合計額です

白馬村地球温暖化対策地域推進計画

平成21年策定

アクションプラン7

自然を活かす

限られた地下資源に頼らない、自然エネルギーを活かした「新エネルギー」について導入を促進します。

《低公害・低燃費車》

○ クリーンエネルギー自動車に乗り換える

ハイブリッド車や電気自動車、天然ガス自動車などの低公害車・低燃費車を積極的に選択し、利用します。



EV自動車用普通充電設備設置 に対する助成制度 平成25年策定

白馬村では、CO2排出の削減を図り環境に優しい観光地づくりを推進していくため、電気自動車(いわゆるEV自動車)用の普通充電設備を設置する事業者又は個人に対し、新たに補助制度を創設しました。

概要は以下のとおりですので、ぜひ積極的な活用をお願いします。

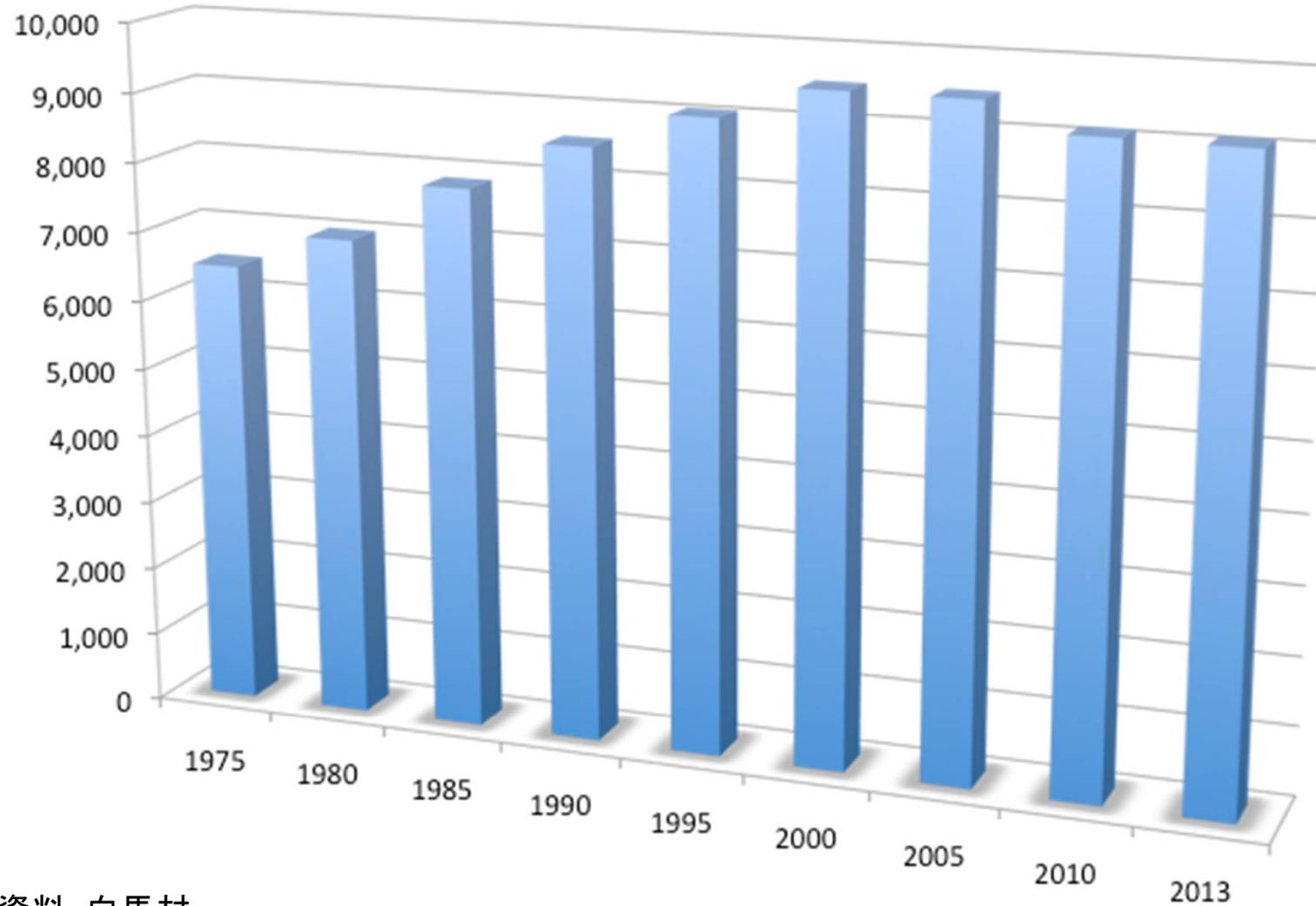
対象者(次の①②いずれかに該当する方)

- ①白馬村の住民基本台帳に登録されている方
- ②白馬村内に事業所、営業所等を所有又は貸借し、事業を営んでいる方
(法人又は個人)

補助金の額

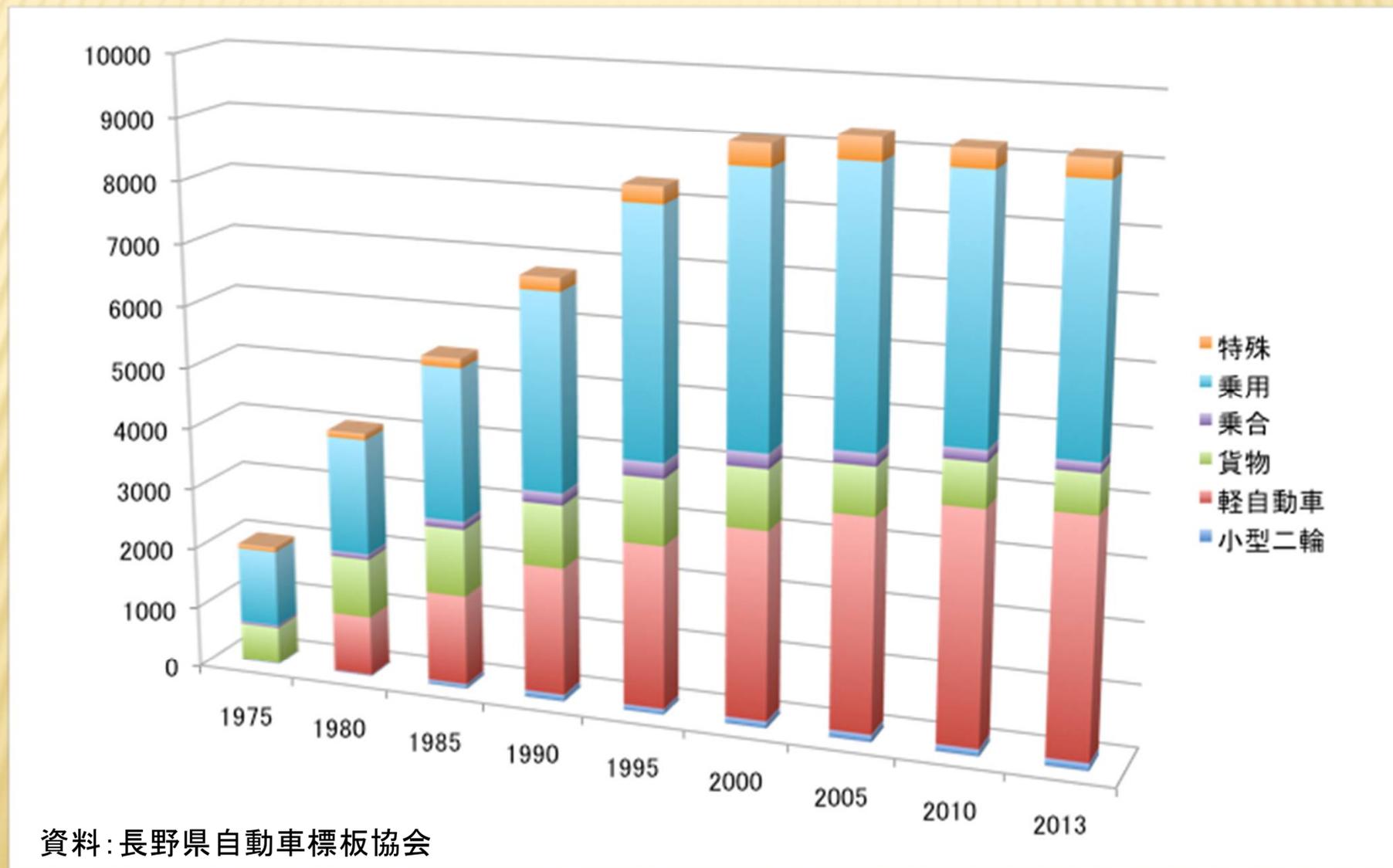
- ①200ボルトの普通充電器設置に係る費用
- ②上限額は4万円

白馬村の人口推移

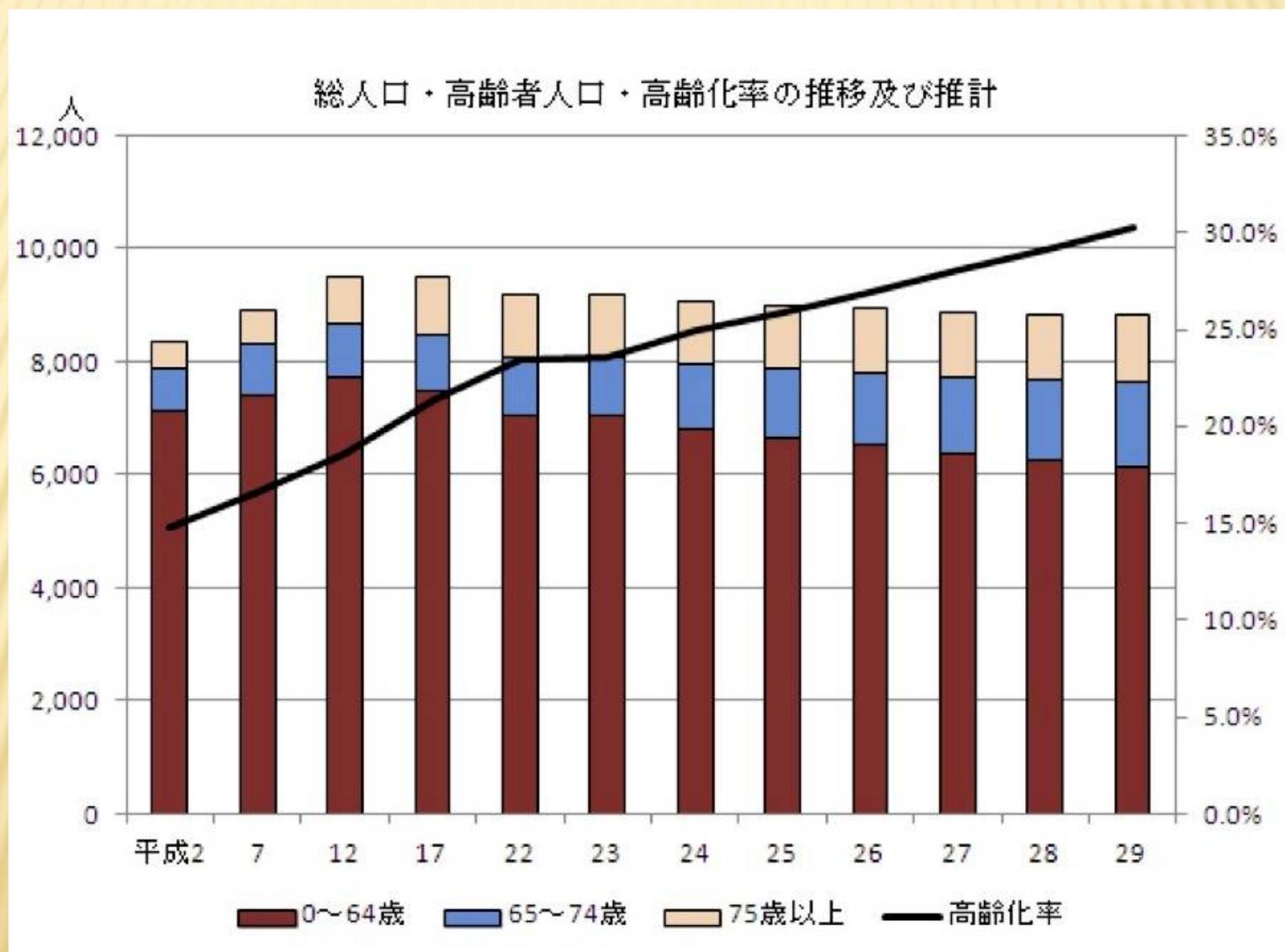


資料: 白馬村

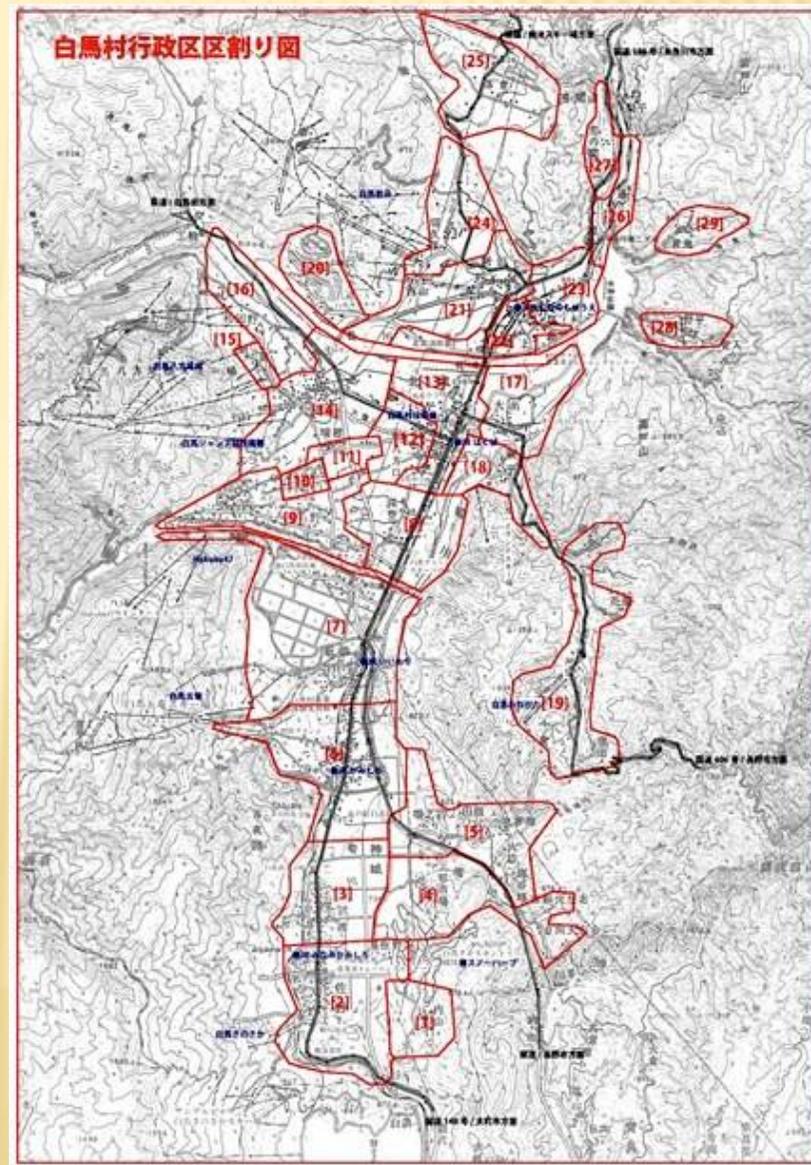
自動車保有台数の推移



人口減少・少子高齢化の将来予測



公共交通



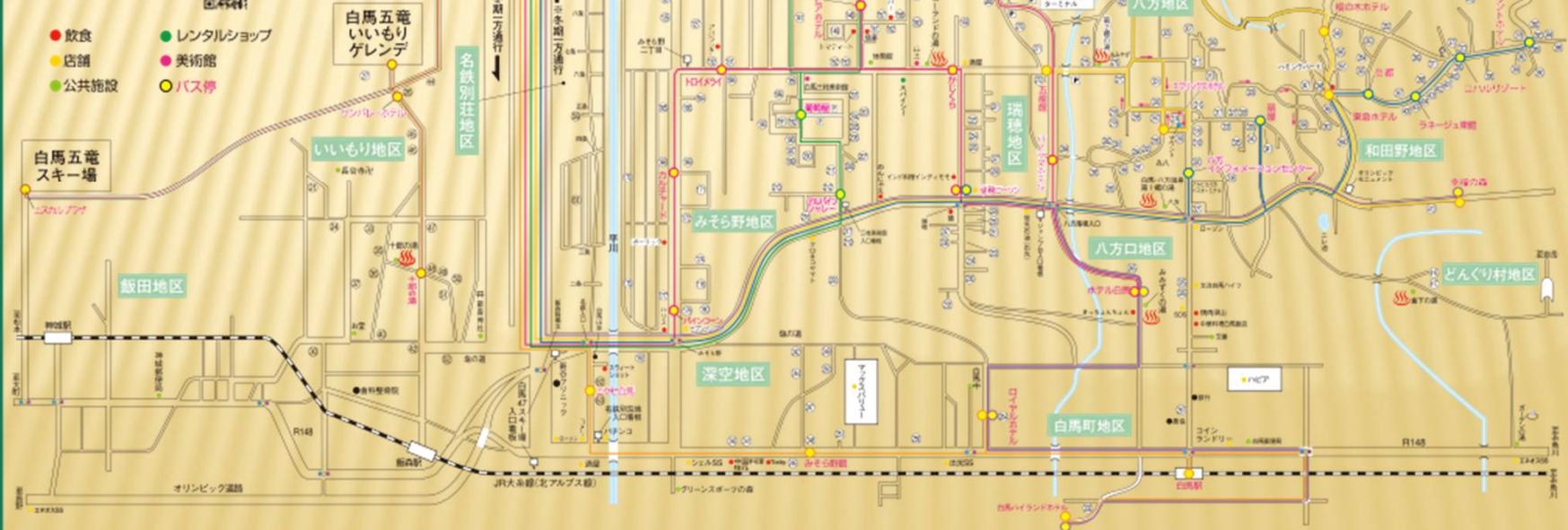
シャトルバス(その1)

Hakuba47シャトルルートマップ 2014



Hakuba47 宿泊情報センター
TEL(0261)75-4747
 HP: <http://www.hakuba47.co.jp/>

- 飲食
- 店舗
- 公共施設
- レンタルショップ
- 美術館
- バス停



Hakuba47シャトルバス ルート順

Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート	Gルート
・ハイランドホテル ・白馬駅 ・ロイヤルホテル ・エッセ白馬 ・47入口	・南十字星 ・五竜本通り西 ・オーケオレスト ・ロイヤルホテル ・ウィザーズボート ・ミーメディア ・アパルトメント	・山のホテル ・パノラマホテル ・ホテル白馬 ・ラフォーレ白馬 ・かじくら ・シゲタホテル ・ロイヤルホテル ・パインコート ・パインコート	・五竜館 ・スパリゾート ・ホテル白馬 ・白馬センター ・白馬の木ホテル ・温泉ホテル ・47入口	・ハイランドホテル ・コパルリゾート ・ラネージュ家 ・白馬センター ・白馬の木ホテル ・ロイヤルホテル ・47入口	・エスカプラザ ・いいもりゲレンデ ・サンバレーホテル ・ホテル白馬 ・十部の湯 ・47入口	・ハイランドホテル ・ロイヤルホテル ・ホテル白馬 ・ホテル白馬 ・幸福の森 ・47入口

2013-2014 Hakuba47シャトルバス時刻表

A	B	C	D	E	F	G
白馬ハイランド発	南十字星発	山のホテル発	五竜館発	ハイランドホテル発	エスカプラザ発	ハイランドホテル発
8:00	8:00	8:15	8:00	8:45	サンバレーホテル発	
9:00	9:00	9:15	9:00	9:45	エスカプラザ発	
10:00	10:00	10:15	10:00	10:45	8:40	
11:15	11:15	11:15	11:00	11:40	9:40	
					11:40	12:30
Hakuba47発						
13:00	13:00	13:00	13:00	13:00		
14:30	14:30	14:30	14:00	14:00	14:30	
			15:00	15:00		
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00		
17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	

※運行期間 2013年12月21日(土)~2014年3月31日(月)
 ※トライアングルスシャトルバスについては、真冬を考慮下さい。
 ※運経路又は道路状況により、ルート・時刻に変更が出る事があります。予めご了承ください。
 ※Fルート9:40便は、サンバレーホテル発となります。

シャトルバス(その2)

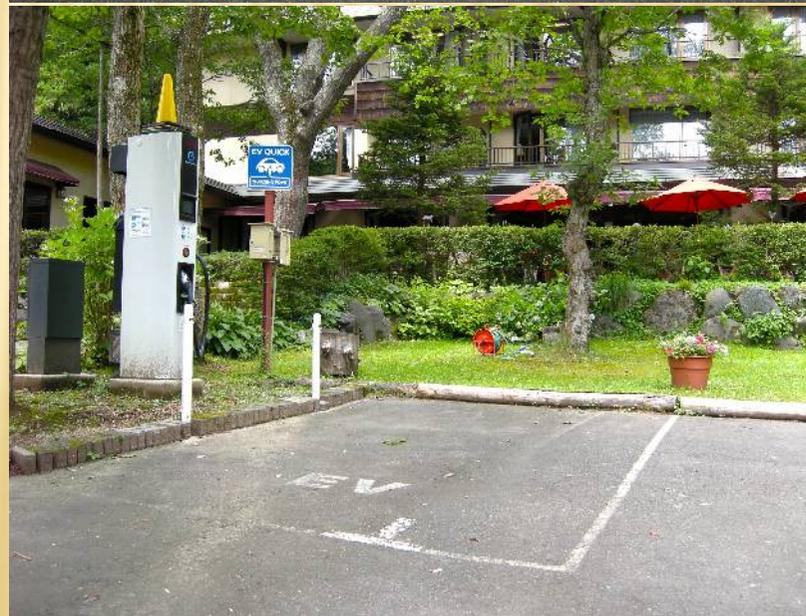
冬季ナイトシャトルバス



白馬EV推進協議会

1. 「白馬EV・PHVワンダーランド2014」の開催を支援するため、EV(電気自動車)に関する理解を深めると共に、村内のEVの受入環境を整備し、又、イベントの支援により、来訪者へのおもてなしを図る。
2. EVの受入環境を整備及び支援活動を通して、EVで来訪する観光客の誘致を積極的に推進する。
3. EVを村民や観光客の村内移動交通として活用することにより、地域の新たな魅力づくりとし、白馬村全体の観光振興に寄与する。
4. 白馬村の豊富な自然エネルギー資源(水力・木質バイオ・太陽光・雪氷熱・温泉熱・地熱など)によって発電した電気をEVに供給することで、地産地消による新しい持続可能な地域モデルとして国内外に向けて広く発信する。

EV充電設備の普及促進



視察・研究



宇奈月町

歩行者や自転車との共存



松本市の取り組み

日 親 庁 局 第三種郵便物認可

ノーマイカー 効果を一目で

松本市内の各種団体や企業でつくり、公共交通や自転車の利用促進策を検討する「市ノーマイカーデー推進市民会議」などは23日朝、市中心部の伊勢町通り（市道）を通行止めにし、路線バスや自転車による移動の効率性を説明する写真を撮影した。定員70人の路線バス1台と、70人の移動に必要な乗用車の列をそれぞれ撮影。今後、見て比較できるポストカードなどを作り、公共交通を生かしたまちづくりの必要性を訴える。

松本でPR写真撮影 バス・自転車利用推進へ

午前4時半〜6時45分、幅場合、1台当たりの平均乗者12人の3車線の市道を通行止人数（1・3人）から算出し始めた。最初に乗用車の列で54台になり、車列は長さ約を撮影。乗用車が70人を運ぶ120台になった。次に70人が自転車に乗って道路幅に合わせた並んだ約20台の列を撮った。最後に路線バス1台を通りの真ん中に止めて撮影した。乗用車や自転車を並べるため、市民ら約100人がエキストラとして参加した。同会議会長で建設会社役員平田東二は「車は予想より長い列になり、驚いた。市街地では車の通行を減らし、歩行者や自転車に優しいまちづくりが必要だ」と話した。推進市民会議事務局の市建設部によると、こうしたPR写真撮影は真内で初めて。写真は同会議が9月21日に市中心部で開く「松本カーフリーデー」のイベント会場にパネル展示し、1千枚のポストカードにして配布する。

一度に70人を運ぶことができる路線バス（写真上）、平均的な乗車人数の乗用車で移動することを想定すると54台の列になる（写真下）




信濃毎日新聞
2014/08/24



ありがとうございました。

白馬EV推進協議会 渡辺俊夫